

初期臨床研修プログラム

1. プログラムの目的と特徴

目的

初期臨床研修医が当院の理念のもと、当院の研修理念に基づき、すべての医師に求められる基本的臨床能力(知識、技術、態度)を習得し、あわせて円満な社会人に求められる人間性・社会性を涵養することで、最適の医療を提供し病者の苦しみを和らげその人生を支える援助者となる基礎を確立することを目的とする。

特徴

- ◇内科・小児科・外科・産婦人科を中心とする全診療科のプライマリ・ケアを、多数の症例を経験することで習得できる。
- ◇救命救急科・麻酔科に十分な研修期間を配することにより、集中医療・救急医療の基礎を習得できる。
- ◇指導医、上級医からの研修講義により実地臨床に必要な知識・技能を修得できる。
- ◇各診療科研修終了ごとの評価、模擬患者参加による医療面接演習などにより、医師として必要な態度の教育を十分行う。
- ◇研修スケジュール・選択科の履修については、各研修医の意向を配慮して決定する。

2. 研修理念

健康上の諸問題を持つ患者が、その問題を自ら解決し、あるいは対処するのを、適時、的確に援助するために、臨床医として必要な基本的知識と技術を習得し、あわせて医師としてのふさわしい態度と習慣を身につける。

【 到達すべく望ましい医師像 】

- ◇生涯にわたって教育・学習を続ける態度・習慣を有する。
- ◇科学的妥当性、探究能力を有する。
- ◇高い倫理性と豊かな人間性を有する。
- ◇社会の発展に貢献する使命感と責任感を有する。
- ◇自己の能力の限界を自覚し、他の専門職と連携する能力を有する。
- ◇チームのコーディネーターとしての機能を有する。
- ◇後輩の医師を育成する能力を有する。
- ◇地域の指導的役割を果たす能力を有する

3. 研修方式

1年次

オリエンテーション	内科	救命救急科	外科	麻酔科	総合診療科
1ヵ月	4ヶ月	2ヶ月	2ヶ月	2ヶ月	1ヵ月

2年次

精神科	小児科	救命救急科	産婦人科	総合診療科	地域研修	内科	選択
1ヵ月	1～2ヶ月	2ヶ月	1ヵ月	1ヵ月	1ヵ月	2～4ヶ月	1～2ヶ月

研修期間

2年間、オリエンテーション1ヶ月、基本研修 21ヶ月、選択研修 2ヶ月

内科8ヶ月～6ヶ月、外科2ヶ月(うち1ヵ月を脳神経外科または整形外科に変更可能)、

救命救急科4ヶ月、麻酔科2ヶ月

小児科 1～2ヶ月、産婦人科 1ヶ月、精神科 1ヶ月、地域医療 1ヶ月

内科は、1年次と2年次に総合診療科を1ヵ月ずつ必修、消化器科/血液内科、循環器科/内分泌代謝科、呼吸器科/神経内科、腎臓内科/感染症科の4グループから3つ以上選択(1グループ2科を2ヶ月)

救命救急科は、1年次に2ヶ月、2年次に2ヶ月選択する。産婦人科は原則として2年次に選択する。

精神科、地域医療は2年次に選択する。

精神科の一部に当院精神科での外来研修を含める(リエゾン精神医学研修)。

地域研修では武蔵野市、三鷹市の医療機関、または浦河赤十字病院(北海道)を選択する。

選択研修 2ヶ月

研修科の選択は任意とし、基本研修を選ぶことも可能である。1診療科のみを履修することは好ましくない。

履修が不十分な科がある場合には、その科を選択する。

ローテーションスケジュールは、オリエンテーション期間中に、研修医自身の希望を踏まえて、臨床研修部長、各科代表指導医が協議・調整して作成する。2年次開始時に、1年間の研修を振り返り、より効果が上がるように、スケジュールを部分的に修正する。1年次、2年次の中で研修する順番は研修医の重複を避けるために研修医ごとに異なるが、各科の期間は同一である。

4. 医師の研修

卒後研修については、インターン制度の時代から始まり、研修医制度が開始されてからは研修指定病院として多くの研修医を受け入れてきた。1999年には、全国の赤十字病院に先駆けて臨床研修部が開設された。